

学校名・学年	名前	お披露目式へのコメント	ワークショップで作成したメッセージ
岩手県立大槌高等学校3年	雁部 英恵	新型コロナウイルス感染拡大にともない大会が1年延期され、すっかりモニュメントのことを忘れていましたが、先日大槌町でも聖火リレーが行われ、やっとオリンピック・パラリンピックが開催される実感が湧いてきました。 各競技で素晴らしい物語が繰り広げられることを楽しみにしております。	この先の物語 私たちに！
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	阿部 佑陽	自分が考えたメッセージがオリンピックのモニュメントにかかれてうれしいです。	感謝の思い
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	加藤 紡喜	自分達が考えたメッセージがモニュメントとしてつくられたということのすごさを感じることができたのと同時に、復興の力に少しでもなればいいなと強く思うことができました。	感謝の思い
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	菊田 琉美菜	オリンピックが開催されるのがうれしいです。	感謝の思い
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	星 智樹	色々な人で皆違った思いをいっていてそれを文字に表すことができたので良かったです。とっても楽しかったです。	感謝の思い
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	吉田 朔弥	10年前の東日本大震災の時、多くの方から支援、応援をいただきました。私は人と人との繋がりはとても大切なものだと思います。オリンピックでも様々な繋がりが生まれると思います。震災時の感謝とオリンピックがコロナ禍でも楽しいものになることを祈っています。	繋がりをもち、楽しもう 宮城
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	佐藤 夢見	生きている中で、日本に来てオリンピックをすることは、1回あるかないかの中で、このような形で参加させていただいたことに感謝しています。	前へ ただひたすら 前へ
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	成田 麻桜	日本でのオリンピック開催は人生の中であるかないかの機会なので、私もそこに参加させていただいたことにとても感謝しています。復興に願いを込めてメッセージを作成しました。この思いが繋がれていくことを願っています。	前へ ただひたすら 前へ
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	畠山 夏奈	私たちが考えたメッセージが選ばれてうれしかったです。	好きにやる
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	小野寺 利矩	私たちが伝えたいメッセージがアスリートの目にとまり、少しでも後押しする力になって欲しい。「宮城から復興のエンジンを！」というメッセージはアスリートの活躍により復興が進んで欲しいという思いから考えました。	宮城から復興のエンジンを！
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	川島 樹	昨今、様々なオリンピックに関する問題が提起されていますが、それでも活躍するアスリートの方々と乗り越えていければ良いと思います。	宮城から復興のエンジンを！
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	菊田 凌大	自分達が考えたメッセージが展示されるのがとても嬉しいです。このメッセージをアスリートの「エンジン」にして頑張ってもらいたいと思います。	宮城から復興のエンジンを！
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	佐藤 新汰	アスリートたちに、宮城から応援していることが伝わってほしい。	宮城から復興のエンジンを！
宮城県気仙沼向洋高等学校3年	村上 友哉	1年生のときに考えたものが形となって展示されることが実感はわかないけどすごいなと思いました。	宮城から復興のエンジンを！

宮城県気仙沼向洋高等学校 3年	伊藤 航	自分が制作に携わったものがオリンピックで展示されるのは嬉しいと思う。今は辛い時期だとは思いますが、笑っていれば少しは頑張れるのではないかと思いました。	一笑懸命
宮城県気仙沼向洋高等学校 3年	小野寺 郁弥	負けそうな時、つらい時こそその状況を楽しむ事を大事にしてメダルを一つでも多くとれるように頑張りたい。	一笑懸命
宮城県気仙沼向洋高等学校 3年	菅原 怜和	オリンピック開催おめでとうございます。コロナ禍で大変な世の中ですが、オリンピックで日本を元気にして下さい！頑張ってください。	一笑懸命
宮城県気仙沼向洋高等学校 3年	小山 健	震災から10年以上が過ぎた今でもこのような形で震災があったということを忘れないようにモニュメントが展示されることはとても大切なことだと感じます。アスリートの方には宮城から応援しているということが伝わると嬉しいです。	感謝ありがとうございますを忘れない 東北でよかった
宮城県気仙沼向洋高等学校 3年	畠山 駿佑	自分が関わった物がオリンピックの舞台にかざられるということで、とても光栄に思います。	応援を今度は僕らが返す番
宮城県気仙沼向洋高等学校 3年	三浦 瑠真	アスリートの方々にメッセージを見て少しでも元気にやってほしいと思いました。制作に携わった復興のモニュメントが展示され、とてもうれしい気持ちになりました。そして応援をいただいた分、自分が2倍にも3倍にもして返していきたいと思います。	応援を今度は僕らが返す番
宮城県気仙沼向洋高等学校 3年	村上 快仁	自分がオリンピックの何かにたずさわるといのは一生に一度あるかないかなので、こんな貴重な経験をできたことがとても嬉しいです。東日本大震災では、自分たちは応援される側でしたが、今年は、オリンピックに出場する選手たちを、今度は僕らが応援する側で、選手たちにたくさんのエールを送りたいと思います。	応援を今度は僕らが返す番
宮城県気仙沼向洋高等学校 3年	高橋 空	コロナ禍に入って初めてのオリンピックとなりましたが、地域の方々からの支援の感謝や出場する選手の皆さんを応援する気持ちを持ちたいと思いました。また、出場する選手の皆さんの頑張りや被災地に「元気」を届け世界中のありがとうの気持ちが開花して欲しいと思いました。	開花
福島県立安積黎明高等学校 3年	三條 愛子	東京オリンピック・パラリンピックに、モニュメント作成という形で関わることが出来るととても嬉しく思います。作成したメッセージには「世界中の人々が、思い描いた夢を叶えられるように」という思いを込めました。アスリートの方々は夢に向かって、被災地の皆さんは復興へと、希望を持って進んで行けるよう心から願っています。	描こう もっと遠くへ
福島県立磐城高等学校 3年	吉田 永和	『どんわっせ』とは、私の地元、いわき市のお祭りの掛け声に使われる言葉です。「いわきを訪れる無数の人の波」という意味で、復興をアピールするとともに、選手の方々にこの軽快な響きで勇気づけたいという思いを込めました。	どんわっせ

福島県立磐城桜が丘高等学校 3年	檜山 景	制作に携わったのは、今から2年前ですが、班員との議論を通じて良い体験をすることができました。そして、世界規模の東京2020大会に展示されるモニュメントに携われたことは、分不相応に思われ恥ずかしく感じますが、とても喜ばしいと感じています。	平和望勇
福島県立磐城桜が丘高等学校 3年	高橋 茉優	今年のオリンピック・パラリンピックは新型コロナウイルス下での開催ということでアスリートの方々も大変な思いをされていると思いますが、このような状況だからこそ「keep smiling (笑顔を絶やさずに)」練習の成果を発揮できるよう頑張ってください。復興の地「福島」よりアスリートの方々の活躍を祈っています。	keep smiling
福島県立いわき総合高等学校 3年	鈴木 遥菜	思いを込めてモニュメントの飾りの部分をみんなでデザインしました。私は「ありがとう」と書きました。色々な国の言葉で書いてあるので、感謝の心が伝わると嬉しいです。	ありがとう
福島県立郡山北工業高校 3年	伊藤 楓真	モニュメント制作をとおして大会に関われ、とても光栄です。笑顔には人を元気にする力があると考え、「Power of Smile」というメッセージを考えました。アスリートの皆さんには、笑顔で日本中を元気にしてほしいです。	Power of Smile
福島県立郡山東高等学校 3年	佐久間 莉央	歴史に残る東京オリンピックに、このような形で関わることができ、とても嬉しく思います。七転び八起きという不屈の精神を持ち、アスリートの方々に頑張っていたいただきたいというメッセージを込めました。	七転び八起き
福島県立郡山東高等学校 3年	古川 美羽	自分たちのメッセージが、復興のモニュメントとして多くの方々に見ていただけることが嬉しいです。メッセージの「七転び八起き」の意味通り、日本・福島が復興を目指し、苦難を乗り越えてきたように、選手の方々も諦めずに頑張ってください。	七転び八起き